

No.	委員	質問事項	担当所属	札幌医科大学回答	資料No.
2	鈴木委員	「基礎付き科目」と「専門科目」の難易度に差はあるのでしょうか。差がある場合でも、得点は同等に取り扱っているのでしょうか。	学務課	<p>高等学校指導要領解説において、中学校と高等学校との接続を考慮しながら、より基本的な内容で構成し、その上で観察・実験、探究活動などを行い基本的な概念や探究方法を学習する科目として「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」（「基礎を付した科目」）を設けているとされており、「基礎を付した科目」により基礎的学習を行い、その上で、観察・実験、探究活動などに取り組み、より発展的な概念や探究方法を学習する専門科目とは、そうした点で違いはあると思います。</p> <p>得点については、専門科目は1科目で100点満点、基礎付き科目は1科目50点満点とセンター試験で定められています。</p> <p>なお、本学保健医療学部においては基礎付き科目での受験は2科目必須受験としており2科目計100点満点の配点としています。</p>	
3	谷山委員	相談会の回数は減少したが、専任教員を2名にしたことで効果は増大したと見えますか。	学務課	<p>専任教員2名体制としたことで、広報活動の役割を分担し、きめ細かな対応ができるようになったこと、また、H28に増員した教員が臨床医学系医師であることから、医師が直接高校（特に医学系大学への進学率が高い高校）を訪問することで、本学医学部の特色等をよりリアルに伝えることができ、その結果、H29年度医学部一般入試において道内出身受験者数の増加に繋がりました。</p>	
3	鈴木委員	「出前講義」の28年度を実績を教えてください。	学務課	<p>高校からの要請が17件あり、日程調整の上実施したのが12件で、451名の参加がありました。</p>	
4	谷山委員	高校の進路指導担当教師対象のアンケートにおいて高評価を得ている。特にどの情報が評価されていると考えられていますか。	学務課	<p>平成28年7月に実施した入試広報に関するアンケートにおいて保健医療学部ホームページに関して、高い評価を得ております。</p> <p>「まったくその通り」・「かなりその通り」と回答</p> <p>①知りたい情報をすぐに見つけることができた 71% ②興味を惹かれる見た目だった 67% ③学部の特徴がよく理解できた 81%</p>	
5	谷山委員	初期研修医の学位取得者の進路は、研究者or臨床医のどちらが多いのでしょうか。また、退学者が出るとのことですが、その主な理由はどこにあるとお考えでしょうか。	学務課	<p>初期臨床研修医2年目から進学した大学院生、学位を取得した者は、現在のところまだいません（平成26年度入学生から適用のため）が、医学研究科博士課程の平成28年度学位取得者（計52名）の進路としては、本学附属病院の診療医を含めて一般病院勤務が38名、本学を含む教育研究者が8名の順となっています。</p> <p>なお、退学の理由としては、職務上の理由（業務多忙・異動など）や、一身上の都合（介護・健康状態など）によるものが多いほか、課程博士から論文博士への移行もあります。</p>	
6	谷山委員	後期臨床研修医に大学院進学を進める理由（狙い）はなんのでしょうか。研修医教育と課程教育は成り立つのでしょうか。カリキュラム上同時進行（カリキュラムの実質化）に問題はないのでしょうか。	学務課	<p>医学研究科は、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）において、求める人材として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度な知識・技術の修得に励み、さらに応用・発展に意欲を持つ人 ・高い倫理観を備え、医学の分野で活躍する意思を持つ人 <p>を挙げています。</p> <p>後期臨床研修医に大学院進学を進める理由としては、基礎医学研究の基盤を厚くするとともに、臨床医にも医学を深めてもらうためであり、社会人教育を推進する国の方針や、専門医資格の取得などの意向を踏まえ、カリキュラムの実質化を図るとともに、今後、長期履修制度の導入を検討しているところです。</p>	

No.	委員	質問事項	担当所属	札幌医科大学回答	資料No.																													
7	鈴木委員	「学部生院生交流会」（看護学専攻）の参加者が非常に少ないようですが、広報はどのようにされているのでしょうか。	学務課	平成28年度は、2日間の開催で、看護学専攻の学部生が計7名参加しています。研究科(看護学専攻)においては、社会人経験の入学者が大半を占めており、大学卒業者が直接入学することは稀な状況であることから、参加者数が少ないものとは考えておりません。																														
8	谷山委員	両制度の受験者並びに入学者の道内出身者の比率はいかがでしょうか。	学務課	<p>受験者並びに入学者の道内出身者の比率は次のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">推薦入試有</th> <th colspan="2">推薦入試廃止後</th> </tr> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">道内出身者の比率</td> <td>受験者</td> <td>88.5%</td> <td>82.9%</td> <td>87.2%</td> <td>91.7%</td> <td>91.9%</td> <td>85.7%</td> </tr> <tr> <td>入学者</td> <td>100.0%</td> <td>90.0%</td> <td>90.0%</td> <td>90.0%</td> <td>85.0%</td> <td>83.3%</td> </tr> </tbody> </table>			推薦入試有				推薦入試廃止後		H24	H25	H26	H27	H28	H29	道内出身者の比率	受験者	88.5%	82.9%	87.2%	91.7%	91.9%	85.7%	入学者	100.0%	90.0%	90.0%	90.0%	85.0%	83.3%	
		推薦入試有					推薦入試廃止後																											
		H24	H25	H26	H27	H28	H29																											
道内出身者の比率	受験者	88.5%	82.9%	87.2%	91.7%	91.9%	85.7%																											
	入学者	100.0%	90.0%	90.0%	90.0%	85.0%	83.3%																											
9	谷山委員	両教育科目の評価が高いとのことですが、評価法の方法と内容（どの点が評価されたか）についてご説明ください。	学務課	<ul style="list-style-type: none"> ・学生による授業評価は、「授業内容が理解しやすかったか」、「教材や資料などの授業準備は十分に行われていたか」、「授業の学習目標は明確であったか」の3項目について、5段階で評価することとなっております。 ・「英会話」と「法学」については、特に「英会話」は複数の講師のもと少人数でクラス編成していることから、評価に若干のばらつきがあるものの、すべての項目で4以上の評価を得ており、法学についても同様の結果であることから、学生にとって有意義なものであったと判断しております。 																														
10	谷山委員	学修効果の評価法とその内容（どの点が評価されたか）についてご説明ください。	学務課	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画は、地域医療をより理解するため、関連する第3学年の2科目「医学概論・医療総論3」「地域医療合同セミナー3」を改編し、臨床実習開始前に実施する第4学年の「医学概論・医療総論5」の実施内容を決定するというものです。 ・特に第3学年では「地域医療合同セミナー3」を前期必修科目とし、後期の「医学概論・医療総論3」では、平成28年度から、専門職連携の重要性を理解するとともに、地域医療を理解し、地域に暮らす住民への関心を高めることを目的として、全学生による3日間の地域（道南・日高・空知・十勝）滞在実習を組み入れました。この実習は、実習病院の地域での役割や福祉施設と病院の連携を学ぶプログラムで構成されており、学生が企画運営する地域住民の皆様を対象とした「健康教育セミナー」の開催も、全ての実習施設で行うこととしております。 ・このように、第3学年の2科目については、前年度の検討を踏まえ、改編した内容で実施することができ、また、第4学年の「医学概論・医療総論5」についても、第4学年の臨床実習「スタートアッププログラム」との重複を整理した内容で実施することが決定できたため、教育内容の充実を図ることができたと評価したものです。 																														
10	鈴木委員	「地域医療合同セミナー3」の具体的な授業内容を教えてください。	学務課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療合同セミナーは、地域医療を展開する上で必要となる基本的な知識と態度を学ぶ両学部合同の1年～4年次にて開講される積み上げ科目です。委員ご指摘の3年次における「地域医療合同セミナー3」の具体的な授業内容は、北海道における地域医療とチーム医療の取り組みを講義で学び、事例検討、実習準備等の演習を行った上で、地域実習を行うものとなっております。なお、実習は、地域（留萌市、別海町、中標津町）に出向き、医療・福祉現場での滞在実習を通して多職種（医学部・保健医療学部）がチームを組み、患者・対象者中心に考える重要性を学び、北海道が抱える地域医療の課題を理解し、将来、地域医療に貢献できる医療人の育成を目的とした内容としております。 																														

No.	委員	質問事項	担当所属	札幌医科大学回答	資料No.
11	古谷委員	学生部講話の実施について、以前から行われていたのでしょうか。行われていたとしたら、過去の内容を教えてください。今年度、初めてとしたら、そのきっかけは何でしょう。	学務課	学生部講話は、本学学生の処分案件が増加したことから、平成27年度から実施しています。 内容としては、27年度はこれまで起きた学生の問題・処分案件を中心に、28年度はSNS利用にあたっての留意事項や医療専門職を目指す学生に求められる倫理観を中心に講話を実施しました。	
12	谷山委員	進学者の増加に貢献していると判断されていますか。	学務課	進学者（MD－PhDプログラム入学者）につきましては、過去3年で平成27年26人、平成28年16人、平成29年20人と推移しておりますが、うち「基礎配属」を実施する3年次における同コース出願者は、18人(69%)、4人(25%)、14人(70%)と、プログラム対象学年の1年～5年のうちで、同学年がもっとも高い比率を占めており、「基礎配属」の実施が、同コースの進学者に貢献しているものと考えております。	
13	谷山委員	チュートリアル教育の効果がどのようなところに現れたとお考えでしょうか。	学務課	・1年次の「新入生チュートリアル」で自己学習の方法を学ばせることで、高度な自己学習能力・問題解決能力が求められる4年次の「PBLチュートリアル」へのスムーズな導入ができると考えております。 ・問題解決能力は、その後、高学年で行う臨床実習における「臨床推論能力」のベースとして極めて重要な要素と考えており、臨床実習に入る前の基本的な診察手技や対応力を身に付けさせる「臨床入門」での、積極的な自己学習に繋がっているところです。	
14	鈴木委員	「カリキュラム委員会」と「教務委員会」の間には、何らかの連携が行われているのでしょうか。	学務課	・医学部におけるカリキュラム委員会と教務委員会では、それぞれ所掌事項を分担しておりますが、教務委員会では「教育課程に関すること」、カリキュラム委員会では、教育課程を構成する要素である「カリキュラムに関すること」を審議しますので、必要に応じて、頻繁に、教務委員会とカリキュラム委員会の間で連携が行われています。具体的には教務委員会からカリキュラム委員会に対し、審議事項を依頼し、その報告を受けるなどの場面がございます。なお、教務委員会委員長と教務委員会副委員長は、カリキュラム委員会委員を兼任しており、さらに教務委員会副委員長には「カリキュラム委員会委員長」を兼任させ、相互の委員会の連携を強化する組織体制を整えています。	
16	鈴木委員	「保健医療セミナー」参加については、何らかのインセンティブを与えているのでしょうか。	学務課	本事業は接遇専門家や地域医療の現場で働く卒業者による講演に一部グループワークを取り入れるセミナー方式で実施しており、学生には参加を義務付けておりますが実施時間等の問題もあり、現在のところ単位の振替などのインセンティブは設けておりません。 セミナー受講者に修了書を授与するなど学生に受講した成果を形として残すなどの対応を行っているところです。	
19	谷山委員	そもそも札幌医大におけるTA制度の目的・意義はどこにあるのでしょうか。増加しない原因はどこにあるとお考えのでしょうか。	学務課	TA制度は、医学研究科に在籍する学生に対して、教員の指導のもとで医学部の授業の補助業務に従事させることにより、医学部教育のきめ細かい学生指導の充実を図るとともに、大学院生が将来、教員・研究者となるためのトレーニングの機会を提供することを目的としており、特に、医師資格のない学生に対する就学支援になるものと認識しています。 平成29年度においては、所属講座も17講座まで増加し、要望額が予算額を超えており、予算の範囲内で調整を行っている状況であり、28年度においては結果として未実施となったケースが多かったことから、今後、実施状況を把握したうえ、必要に応じて計画を見直すなど進捗管理を行って行く予定です。	
20	谷山委員	研究科修了生においても地域医療への貢献度が高まっていることを確認できましたでしょうか。	学務課	地域で活躍する高度専門臨床医を養成することを目的とした臨床医学研究コースにおいては、平成28年度修了生17名のうち12名が道内各地域の基幹病院、5名が本学と、全員が道内に勤務しており、本学の理念である「地域医療への貢献」に資する人材の育成において、成果を上げているものと認識しています。	

No.	委員	質問事項	担当所属	札幌医科大学回答	資料No.
20	谷山委員	医師、歯科医師以外の研究科修了生の進路はどのようになっているのでしょうか。彼らの医学への貢献度はいかがでしょうか。	学務課	主に研究者・教育者を養成し、医学研究を志す学生を広く受け入れる医科学研究コースにおける、医師以外の平成28年度修了生(計7名)は、本学教員(1名)のほか、他大学の教員(2名)、医療機関勤務(2名)、研究機関(1名)、企業勤務(1名)となっており、多方面で活躍しているところです。	
21	谷山委員	研究科関連の講義は、カリキュラム(シラバス通り)上実質化されているのでしょうか。	学務課	シラバスどおりの展開を前提としてカリキュラムの実質化を図ってきたところです。シラバスの作成にあたっては研究科内で点検を行うとともに、また、学生向け授業評価においても、この点を確認しています。	
23	谷山委員	教員のスキルアップを図るためのFD活動についてその計画、具体的実効性についてご説明をお願いします。	学務課	本学のFD活動は、年間で、FD教育セミナー3回、FDワークショップ2回、新任教員研修1回の合計6回開催することとしています。FD活動は、教員の資質及び能力の向上に繋げるため継続的に実施してきており、時点を区切った到達点(評価)は設定していませんが、参加者アンケートにおいて「大変勉強になった。」「とても有効。大きな刺激を受けた。」「今後の授業の組み立ての参考にしたい。」等の肯定的な意見が多く寄せられています。	
24	谷山委員	教員のスキルアップに繋がったと評価する根拠を具体的にご説明してください。	学務課		
25	谷山委員	スキルラボの学修効果についてどのように評価されていますか、評価法も合わせてご説明ください。	学務課	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年に本格稼働したスキルラボ(臨床技能教育実習施設)については、年々その利用率が向上しており、臨床実習のシミュレーター教育や学生の自己学習において利用されていることが利用実績で確認されています。 「スキルラボ=臨床技能教育」における学修効果については、スキルラボが本格稼働後、いまだ間もないことから、十分な客観的データは揃っていない状況にあります。全国すべての医学系大学において医学教育分野別評価の受審が必要とされ、その評価基準に「診療参加型の臨床実習を72週とすること」などが明記されておりますことから、臨床技能教育については、今後より一層の強化が必要とされています。 なお、具体的に学生の臨床技能を評価する試験としては、4年次における全国共通の「共用OSCE試験」と、6年次における本学独自の「AdvancedOSCE」試験がありますことから、これらの結果や臨床実習前のスキルラボの利用実績などのデータから、臨床技能教育の学修効果について、関係委員会において検証を進め、より効果的な教育体制を整えることとしております。 	
28	古谷委員	学生支援会議の参加者の内訳を教えてください。また、平成26年から3回目の開催となりましたが、内容的に変わったところはありましたか？	学務課	<p>参加者の内訳は、学生側からは①各学年代表(「学年代表者会議」の構成員：学習活動に関すること)②学生会執行部(サークル・行事に関すること)、大学側からは①学生委員会(学生部、副学部長、学校医等で組織する教員等)②各学年担当教員③関係事務局職員 となっております。</p> <p>26年度の開催時は、学年代表が学年分のみ取りまとめただけで会議に臨んでいたため、学生全体としての意見の取りまとめがありませんでした。27年度からは、学生の総意として取りまとめた意見を大学側に申し入れることができるよう、両学部の学年代表による「学年代表者会議」を発足させ、さらに28年度は、過去2年間の開催状況を踏まえ、学生と大学との意見交換をより充実させ、活発に行うことができるよう、お互いに事前協議を行い、会議に臨んでおります。</p>	
28	鈴木委員	学生からの成績に関する異議申し立てを受け付ける窓口というものは、設置されているのでしょうか。	学務課	<p>成績につきましては、学部毎に定められた「教育課程、授業科目履修方法、試験及び進級取扱いに関する規程」に、その評価基準を定めておりますが、学生からの異議申し立てに関する窓口については、同規程には明記していません。</p> <p>本学においては、両学部において、学習・生活に関する相談窓口として、学科及び学年毎に担当教員を配置する学生担当教員制度を設けておりますことから、学生から、学生担当教員に相談があった場合は、この制度を活用して対応することとなります。</p>	

No.	委員	質問事項	担当所属	札幌医科大学回答	資料No.
29	谷山委員	就学支援に関するマニュアルの作成は十分に活用されていますか。その根拠となる事例などがありますか。	学務課	「保健医療学部学生の修学支援に関する申し合わせ」及び「学生支援ワーキングの設置および運用について」の策定後、これらのマニュアルを適用して対応している事例は生じておりませんが、問題が発生した際に、その学生の状況により、どのような体制で支援を行っていくのかという点について教員に周知されていることから、修学支援における対応方法を共有することができると考えております。	
36	田中委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「研究支援に係る事務局体制については、H25年度に他大学の研究支援体制を調査し、研究支援の専門職員を配置していることがわかった」とある。 ・H28年度の自己点検・評価で、「研究支援に係る事務局体制の充実については他大学の状況を調査し、・・・・・・、引き続き継続していくこととした。」 ・H29～30の実施予定では、「研究の推進及び臨床研究への支援組織や産学・地域連携センターの機能を含めた研究支援体制の強化に向けた体制を構築する。」 ⇒いろいろ書いていますが、つまりは、この目標を管理する部署を決めればよいことだと思いますが。どこの部署が支援する（管理する）ことになったのでしょうか。	産学	総務課が中心となって、学内の研究支援体制の見直しを行っているところです。	
37	鈴木委員	具体的な科研費申請率及び採択率を教えてください。また、レクチャー実施前と実施後でこれらの数値に変化は見られるのでしょうか。	産学	申請率（新規・継続の申請数÷教員数）は86.5%（H19）→103.4%（H28）、採択率は23.9%（H19）→25.7%（H28）です。レクチャーの開催を開始したH20年以降、申請率と採択率ともに増加傾向にあります。	
P55 欄外表	谷山委員	28年度、FD活動への参加が減少している理由は、どこにあるとお考えでしょうか。	学務課	第3回FD教育セミナーが講師の都合により、中止となりましたが、開催が12月だったことから、延期することができなかつたため、例年よりFD教育セミナーの開催回数が少なくなったことが要因と考えられます。 平成29年度からは、早めの日程としております。	
48	谷山委員	支出削減に貢献したと評価されますか。その程度はどれぐらいでしょうか。比較対象はありますか。	医事経営課	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度（4月～翌3月）において、価格交渉を行った医療材料及び医薬品に関して価格交渉前後の比較を行ったところ、支出削減額（推定）を237,242,489円と算定したものであります。 【医療材料費】 94,944,322円 【医薬品費】 142,298,167円 	
48	田中委員	<ul style="list-style-type: none"> ・取得可能な診療報酬加算・・・看護職員夜間配置加算、医師事務作業補助体制加算、精神科急性期医師配置加算 ・これらは確実に医療の質をあげますが、人件費を増やします。 ・むしろ、収支的にはマイナスに作用することも考えられます。 ⇒いかがでしょうか。	医事経営課	・医師事務作業補助者などについては、医療の質の向上に資するものとして、従前より一定程度人員を配置しており、今回は必要最小限の支出に留めていることから、収支的にはマイナスに作用していないと考えております。	
49	鈴木委員	「緊急的な医師派遣要請」とは、具体的などのような要請をいうのでしょうか。	病院課	「緊急的な医師派遣要請」とは、北海道公立大学法人札幌医科大学役職員兼業規程で定められている兼業の従事制限の対象としない医師派遣要請のことを指し、次のいずれかに該当するとき。 <ol style="list-style-type: none"> ①過疎市町村に所在する公的医療機関において、専門診療科目の担当医が疾病等により代替医師が確保できないため必要となる診療支援 ②公的医療機関において、病状急変により移動不可能な入院患者に対し、高度・専門的な手術等対応できる医師が特定される診療支援 なお、平成28年度の1件（道立江差病院）は①に該当するもの。	

No.	委員	質問事項	担当所属	札幌医科大学回答	資料No.
50	鈴木委員	特別卒業医師に卒後臨床研修を行う必要性について教えてください。	病院課	<ul style="list-style-type: none"> ・医師には2年以上の初期臨床研修の受講が医師法により義務付けられており、特別卒業医師であっても例外ではない。 ・特別卒を卒業し、総合医等として地域医療への貢献を第一に志す場合であっても、専門医に向けたキャリアや経験が非常に有用であることから、後期研修プログラムについても、9年間の地域従事義務年限の中で可能な限り満たせるよう工夫しているところ。 ・特別卒学生を対象とする説明会においては、卒後の自身のキャリアを具体的にイメージできるよう、モデルケースを提示するなどしている。 	
53	鈴木委員	ハイブリッド手術件数の年度別推移はどのようになっているのでしょうか。	病院課	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッド手術室利用件数の推移は別添のとおり。 	1
53	谷山委員	利用件数など過去との比較も含めて具体的な数値はありますか。	病院課	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッド手術室利用件数の推移は別添のとおり。 	
53	田中委員	「ハイブリッド手術件数は増えており、活用は進んできている」とありますが、具体的な手術件数を年度ごとの推移で示してください。例として、TAVI、EVAR、TEVARなどの件数でしめしてください。可能な範囲で結構です。	病院課	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッド手術室利用件数の推移は別添のとおり。 	
59	鈴木委員	「がん相談員」とは、具体的にどのような職種なのか、兼任・専任の別を教えてください。	医療連携福祉センター（相談）	<p>○ 当院のがん相談支援センター「がん相談員」は、社会福祉士の資格を持った医療ソーシャルワーカー5名が担当しており、専任の職員は2名、兼任（他の特定疾患等に係る相談と兼任）の職員は3名である。</p> <p>○ なお、当院は、がん診療連携拠点病院の指定を受けているため、指定要件として、「相談支援センター相談員研修・基礎研修（1）～（3）」を修了した「がん専門相談員」の配置が義務付けられており、上記相談員には、がん相談員に求められる基本的姿勢や相談支援、がんの主な治療方法や緩和ケア等から構成される研修を受講させ、相談対応の質の向上を図っている。</p> <p>○ また、当院においては、がん診療連携拠点病院として、平成26年度から「がん看護相談室」を設置し、「がん看護専門看護師」及び「緩和ケア認定看護師」による看護相談を開始している。これは、医療ソーシャルワーカーによる経済的・心理的な問題に対する相談支援だけでなく、治療に関して多様化する患者ニーズに迅速に対応することが求められたため、専門知識・技術を有する看護師による看護外来の開設が、診療拠点病院の指定要件にも盛り込まれている。</p>	
64	鈴木委員	「保健医療学部による高校出前講座」と、（3）の「出前講義」は同一のものでしょうか。	経営企画課	<p>同一のものではありません。</p> <p>「保健医療学部による高校出前講座」は保健医療学部において、地域の保健医療環境の充実と発展を目的に道内高校生を対象に健康や体、理学療法などをテーマとした講演等、健康増進に向けた取組を行うものであり、年度計画No3の「出前講義」は札医大への入学志願者の増加を図ることを目的にアドミッションセンターにおいて、札医大の教育カリキュラム・研究内容・学生生活の実態を道内高校生へ広報しているものです。</p>	
68	鈴木委員	【修正】「研究期間」は、「研究機関」の誤りかと思われます。	産学	ご指摘とおりです。	

No.	委員	質問事項	担当所属	札幌医科大学回答	資料No.																					
71	鈴木委員	国際交流に関して、1学期以上の長期派遣・受入は行われていないのでしょうか。	経営企画課	<ul style="list-style-type: none"> 1学期（6か月）以上の長期派遣：なし 1学期（6か月）以上の長期受入：あり 5月23日から翌年3月3日まで、JICA日系研修員2名の長期受入を実施。																						
78	田中委員	<ul style="list-style-type: none"> 新規採用職員研修参加者22名ですが、新規採用職員数は何名ですか。 H25、H26、H27の新規採用職員数もお教えてください。 	総務課	法人事務職員の新規採用職員数は、（H25）10名、（H26）8名、（H27）4名である。 なお、平成28年度新規採用職員研修参加者数22名については、法人事務職員のほか、医大勤務が初めてである道からの派遣職員も対象としており、内訳は法人事務職員5名、道からの派遣職員17名である。																						
79	鈴木委員	任期制教員の業績評価は、教員のどの業績を、どのような手順を経て評価しているのでしょうか。	総務課	業績評価は、「教育」、「研究」、「診療」、「社会貢献」、「大学管理運営」の5項目により、任期5年の初年度に、教員自ら今後5年間の目標を設定し、毎年目標に対する自己評価を行い、任期満了となる5年目には、所属長（教授等）による1次評価、本委員会において2次評価が行われ、教育研究評議会の議を経て、理事長が最終評価を決定し、当該教員に対してその結果を通知している。																						
				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【業績評価】</th> <th>【再任判定】</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育</td> <td>講義担当時間数、臨床実習指導学生数 など</td> <td>懲戒処分の有無</td> </tr> <tr> <td>研究</td> <td>研究課題と概要、研究実績 など</td> <td>勤務状況</td> </tr> <tr> <td>診療</td> <td>外来担当時間数、手術・検査等時間数 など</td> <td>業績評価の結果</td> </tr> <tr> <td>社会貢献</td> <td>地域医療への貢献、公開講座等の実施状況 など</td> <td>社会貢献</td> </tr> <tr> <td>大学管理運営</td> <td>学内委員会等における活動状況 など</td> <td>不適切な行為の有無</td> </tr> </tbody> </table>	【業績評価】		【再任判定】	項目	内容	項目	教育	講義担当時間数、臨床実習指導学生数 など	懲戒処分の有無	研究	研究課題と概要、研究実績 など	勤務状況	診療	外来担当時間数、手術・検査等時間数 など	業績評価の結果	社会貢献	地域医療への貢献、公開講座等の実施状況 など	社会貢献	大学管理運営	学内委員会等における活動状況 など	不適切な行為の有無	
【業績評価】		【再任判定】																								
項目	内容	項目																								
教育	講義担当時間数、臨床実習指導学生数 など	懲戒処分の有無																								
研究	研究課題と概要、研究実績 など	勤務状況																								
診療	外来担当時間数、手術・検査等時間数 など	業績評価の結果																								
社会貢献	地域医療への貢献、公開講座等の実施状況 など	社会貢献																								
大学管理運営	学内委員会等における活動状況 など	不適切な行為の有無																								
83	谷山委員	学納金の減少の理由はなんのでしょうか。	経営企画課	大学院医学研究科の入学者数減等に伴う在籍者数の減により、授業料収入が減少したものの。																						
84	鈴木委員	特別研究員の人数と特別研究員の科研申請率を教えてください。	産学	平成28年度は特別研究員が2名、申請件数は1件です。																						
93	古谷委員	ホリとの包括連携協定により開発した「北海道しそハスカップゼリー」の年度別売上を教えてください。また、第2弾の商品の発売を検討とありますが、広報活動の媒体としてどの程度の効果を期待していますか？	経営企画課	<p>●売上について</p> H27年度：合計 9,135,720円（税抜） ※使用料1% 98,665円（税込） H28年度：合計21,140,680円（税抜） ※使用料1% 228,318円（税込） ※商品は㈱ホリが販売を行っており、本学はシンボルマークの使用料として1%の金額を納付頂いている。																						
				<p>●第二弾商品の広報効果について</p> ㈱ホリとの共同開発商品については、包括連携協定事項に基づき、地域社会への貢献を主たる目的として進めているもの。北海道を代表する菓子メーカーである㈱ホリ様の企業力を生かし、地域の素材を使った体に優しいゼリーを道民に提供するほか、札幌医科大学の地域貢献と道民の健康を守るといった大学ブランドイメージの向上を図ることを期待している。 特に、第一弾商品の道内展開を踏まえ、今後、㈱ホリ様においても第二弾商品である「グミ」の展開を道内のみならず全国各地で開催される北海道物産展や道外の北海道アンテナショップ、全国各地の銘菓コーナーでの展開を予定していることから、札幌医大が取り組む地域貢献活動としての広報効果は高いと考える。																						
94	谷山委員	医学部定員増の基本的考え方、その背景についてご説明ください。	経営企画課	国の「緊急医師確保対策」により、平成21年度から平成29年度まで暫定的に医学部入学定員を増員（暫定措置：8名増 入学定員102名→110名）。 H30年度以降の医学部定員のあり方については、医師の地域偏在解消に向けて地域で勤務する地域枠医師を一定の水準で維持したいとの道の考え等を踏まえ、暫定措置（2年間）を延長することで国へ報告したところです。																						

No.	委員	質問事項	担当所属	札幌医科大学回答	資料No.
98	鈴木委員	情報セキュリティに関する学生への講義とは、どの科目内で行われたのでしょうか。	情報センター	単位外のセミナーのため、カリキュラム上の科目には含まれません。	
100	古谷委員	「検疫ネットワークシステム及びウイルスチェック用サーバーの更新」を平成29年3月に終了したとありますが平成29年6月23日のプレスリリースにて「ウイルス感染による不正アクセスの疑いについて」とありました。原因は当該パソコンのウイルス対策ソフトの有効期限がきれていたことに気づかず使用。今後の対応について、より具体的な説明をお願いします。ウイルスチェック用サーバーで全端末を監視していないのでしょうか？もしそうだとしたら今後もしも起こりうるのでは？	情報センター	<p>今後、次の再発防止策を実施いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての所属に情報セキュリティ担当者を設置し、説明会を実施（7月～8月上旬） ○ 各所属における対策状況等の現状把握（各所属からの報告：8月下旬） ○ 他大学の状況等も踏まえ、情報セキュリティ対策のあり方を再検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 規程（セキュリティポリシー）の改正 ・ ウィルス対策ソフトの導入方法等の検討 等 <p>なお、ウィルスチェック用サーバーは電子メールのウィルスを検知することはできませんが、今回のような他の感染経路（USBメモリー経由など）による感染は検知できないことから、ウィルス対策の手法も含め、再発防止に向けた検討を行ってまいります。</p>	
102	鈴木委員	H28の電力使用状況は、H27と同等ですが、これ以上削減する余地はあるとお考えですか。	管財課	<p>教育研究施設Ⅲ改築（H28年度完成）、教育研究施設Ⅰ改築・西病棟増築（H29年度完成予定）及び教育研究施設Ⅱ改築・大学管理棟改築（H32年度完成予定）の施設整備に伴い電力使用量は増加することとなる。</p> <p>これらの施設整備時、既設病院の改修（H30～H34年度実施予定）及び保健医療学研究棟既存改修（H29～H30年度実施予定）時に省エネ機器を導入するなど、省エネルギーに努めて参りたい。</p>	
総括実績 その他の主な実績	庄司委員	P3の2. 総括実績（平成28年度）（1）全体的状況の17行目にある「国家資格試験については、毎年全ての職種において合格率が全国平均を上回り、」という記述と、P12の4. その他の主な実績（1）教育①学士課程の2行目にある「平成28年度においては、医師国家試験を除き、すべての職種の国家試験において、全国平均を上回る合格率（新卒者のみ）となった。」という記述は不整合になりませんか？	学務課	<p>国家試験の合格状況は新卒者・既卒者別に学校毎に公表されております。</p> <p>平成28年度の本学の医師国家試験の合格状況は、新卒者のみでは全国平均を下回る結果となりましたが、既卒者を含めた大学全体では、全国平均を上回っていることから、P3の2. 総括実績（平成28年度）には既卒者も含めた大学全体の結果を記載し、P12の4. のその他の主な実績には、新卒者のみの結果を記載しているところであります。</p>	
その他の主な実績	庄司委員	P12の4. その他の主な実績（1）教育①学士課程について、平成28年度の国家試験合格率（医師）が91.5%と平成23年度以降最低となっていると共に全国平均合格率(91.8%)も下回っていますが、その理由（原因）を御教示下さい。	学務課	<p>今回、平成23年度以降最高の新卒合格者（107人）を送り出しておりますが、合格率の低下については、下記のとおり全国的な影響と本学の状況、2点の理由（原因）が考えられます。</p> <p>○全国的な影響について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚生労働省が決定する医師国家試験における合格者数は、国の予算（初期研修医採用のための国の予算）に左右されるため、例年変動がありますが、本年については、前年より97人減少しております。さらに全国的に学生数が増加しており、受験者数は増えています。つまり、母数（受験者）が増えて子数（合格者数）が減り、今回、全国的に軒並み合格率が大きく低下しています。 <p>○本学の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記の全国的な影響については、本学においても同様の現象が生じており、今回の受験者数は、平成23年度以降で最も多い121人（新卒117人、既卒4人）となっており、母数が増えています。また、例年、医師国家試験不合格者については、受験者中の留年経験者が少なからず影響しますが、今回の受験者に占める「留年経験者」は、平成23年度以降で最も多い17人（うち合格10人、不合格7人）で、これらが、今回の合格率の低下に大きく影響を及ぼしております。 ・ その他、当然に考えられる理由（原因）として、学生の勉強不足、教員の指導不足があげられますが、これらの対策につきましては、「医師国家試験に係る本学の教育・指導方策」として、現在、対応策を取りまとめているところでございます。 	

No.	委員	質問事項	担当所属	札幌医科大学回答	資料No.
その他の 主な実績	庄司委員	P14の4. その他の主な実績(1)教育⑥道内への定着率について、平成28年度の医学部の道内在住比率が69.6%と平成23年度以降最低となっていますが、その理由(原因)を御教示下さい。	学務課	平成28年度に初期臨床研修を開始した者は、平成22年度入学者がほとんどであり、この年度は道内出身者が約7割と他の年度より少なかったことが要因と考えられます。 なお、それ以降の入試制度改革により、道内定着を増やす取り組みを進めており、現在の入学者は、道内出身者が高い比率となっています。	
数値指標	庄司委員	平成28年度「年度計画」において国家試験合格率の数値目標に関連する項目の番号を御教示下さい。(P55に国家試験合格率の数値目標値と実績値の対比表が掲載されていますが、平成28年度「年度計画」との関連性が良くわかりませんでした。)	学務課	・数値目標については、道から示された「中期目標」に対応する基本的な業務成果を表すものであって、数値目標の設定内容の充実が道からの中期計画認可の方針の一つとされ、法人が設定し、中期計画における数値目標として道に認可されたものであります。委員ご指摘の「国家試験合格率に関連する項目番号」については、国家試験合格率の数値指標が、道が示した中期目標のうち「第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標」の「1 教育に関する目標」に対応する数値目標のため、関連する年度計画番号は、1番から29番まで一連の項目が、それに該当します。	
数値指標	田中委員	⑦後発医薬品採用率 ・国の方針からしても後発医薬品使用率(80%という目標を掲げている)の方がよいと思います。 ・後発医薬品使用率は何%ですか。 ・最近採用率という議論はないと思うがいかがでしょうか。	医事経営課	・第2期中期計画策定時や毎月の会議にて報告している病院の概算収支(KPI)において、従前は後発医薬品採用率を目標指標として測定しておりましたが、国の動向を踏まえ、平成26年11月より後発医薬品使用率に変更しております。 ・ご指摘のとおり次期中期計画策定に向けて、後発医薬品使用率を数値指標とするよう検討して参ります。 ・平成28年度の後発医薬品使用率: 81.7%	
数値指標	田中委員	社会貢献 ⑪地域医療連携部門の紹介者数 ・紹介率は何%ですか ・逆紹介者数、逆紹介率はいかがですか。	医療連携福祉センター(相談)	・紹介率 H28の新患数18,956件、紹介数15,964件、紹介率77.35%(医事経営課データ) 内、連携部門の新患外来予約数5,187件 紹介率 27.36% ・逆紹介者数、逆紹介率 H28の逆紹介数13,107件、逆紹介率69.14%(医事経営課データ) 内、連携部門の逆紹介数250件、逆紹介率1.31%	

○平成28年度財務諸表等に関する質疑事項

頁	委員	質問事項	担当所属	札幌医科大学回答	資料No.
2	庄司委員	昨年度と比較して長期未払金が増加している理由（昨年度493,125千円、今年度781,224千円、増加額288,099千円）。	経営企画課	手術用ロボットのダヴィンチ等に係る新規リース契約により、リース債務が増加したことによるものです。なお、毎年度のリース債務支払いにより長期未払金は減少します。	
2	庄司委員	昨年度と比較して運営費交付金債務が増加している理由（昨年度496,416千円、今年度559,601千円、増加額63,185千円）。	経営企画課	精算対象である退職手当等について、精算対象額（算定額－執行額）が前年度と比較して増加したことが要因です。	
2	庄司委員	昨年度と比較して寄付金債務が増加している理由（昨年度997,786千円、今年度1,106,933千円、増加額109,147千円）。	経営企画課	寄附金及び寄附講座の受入額（688,353千円）に対して支出額（579,206千円）が下回ったことによるものです。	
2	庄司委員	昨年度と比較して前受受託事業費等が増加している理由（昨年度98,478千円、今年度127,345千円、増加額28,867千円）。	経営企画課	受託事業の直接経費受入額（76,088千円）に対して、支出額（46,907千円）が下回ったことが主な要因です。	
2	庄司委員	昨年度と比較して預り金が増加している理由（昨年度122,863千円、今年度105,365千円、減少額17,498千円）。	経営企画課	3月退職者に係る共済組合・互助会の貸付金の未償還金が減少し、共済預り金が減少したことが主な要因です（H27比：▲13,467千円）。	
2	庄司委員	昨年度と比較して預り科学研究費補助金等が増加している理由（昨年度56,021千円、今年度67,404千円、増加額11,383千円）。	経営企画課	文部科学省科学研究費の採択金額の増加によるものです（採択額のH27比：16,300千円）。	
3	庄司委員	昨年度と比較して受託研究等収益が減少している理由（昨年度361,226千円、今年度315,779千円、減少額45,447千円）。	経営企画課	執行した費用に伴い収益化されますので、執行額の減少に連動して収益も減少しております。	
3	庄司委員	昨年度と比較して施設費収益が減少している理由（昨年度83,648千円、今年度57,663千円、減少額25,985千円）。	経営企画課	施設費について、H27年度のPCB（産業廃棄物）処理費用（24,589千円）がH28年度は無くなったことから、費用が減少しております。執行した費用に伴い収益化されますので、費用の減少に連動して施設費収益も減少しております。	
3	庄司委員	昨年度と比較して補助金等収益が減少している理由（昨年度560,256千円、今年度366,574千円、減少額193,682千円）。	経営企画課	H27年度で特設講座（100,578千円）が終了し、また橋渡し研究支援プログラムに係る交付額減少に伴い費用が減少（71,989千円）しております。執行した費用に伴い収益化されますので、執行額の減少に連動して収益も減少しております。	
3	庄司委員	昨年度と比較して寄付金収益が減少している理由（昨年度478,991千円、今年度542,015千円、減少額63,024千円）。	経営企画課	執行した費用に伴い収益化されますので、執行額の減少に連動して収益も減少しております。	
3	庄司委員	昨年度と比較して資産見返補助金等戻入が減少している理由（昨年度168,369千円、今年度117,127千円、減少額51,242千円）。	経営企画課	補助金を財源に購入した固定資産の減価償却費見合いが資産見返戻入収益として計上されますが、償却期間が終了した固定資産が多かったため、当該資産に係る減価償却費が減少し、連動して収益も減少したものです。	
3	庄司委員	昨年度と比較してその他の雑収益が減少している理由（昨年度153,669千円、今年度120,891千円、減少額32,778千円）。	経営企画課	H27年度の企業からの特許実施許諾料収入（50,000千円）がH28年度には無くなったこと、またH28年度の体育館出資に関連して、北海道から無償譲与された50万円未満の立木竹の受贈に係る収益増（6,395千円）があったことが主な要因です。	
3	庄司委員	昨年度と比較して固定資産除却損が増加している理由（昨年度4,665千円、今年度119,102千円、増加額114,437千円）。	経営企画課	手術用ロボットのダヴィンチのリース借換に伴い、既存の機器に対する除却損（115,582千円）が発生したことが主な要因です。	
20	庄司委員	業務費のうち研究経費の減価償却費について、昨年度と比較して減少している理由（昨年度273,513千円、今年度225,506千円、減少額48,007千円）。	経営企画課	償却期間が終了した固定資産が多かったため、当該資産に係る減価償却費が減少したものです。	

頁	委員	質問事項	担当所属	札幌医科大学回答	資料No.
21	庄司委員	業務費のうち診療経費の経費の水道光熱費について、昨年度と比較して減少している理由（昨年度582,173千円、今年度497,967千円、減少額84,206千円）。	経営企画課	電気及びガスの単価減に伴い執行額が減少したことによるものです（H27比：電気▲20,621千円、ガス▲58,468千円）。	
21	庄司委員	業務費のうち教育研究支援経費の賃借料について、昨年度と比較して減少している理由（昨年度150,499千円、今年度121,315千円、減少額29,184千円）。	経営企画課	国外学術雑誌電子版等の賃貸借契約の執行額が減少したことが主な要因です。	
21	庄司委員	業務費のうち受託研究費等について、昨年度と比較して減少している理由（昨年度325,599千円、今年度279,160千円、減少額46,439千円）。	経営企画課	取り組んでいるプロジェクト（研究課題）の件数の減少（H27比：▲7件）などに伴い、執行額が減少しております。	
21	庄司委員	業務費のうち常勤役員給与の退職給付費用について、昨年度と比較して減少している理由（昨年度49,941千円、今年度0千円、減少額49,941千円）。	経営企画課	H27年度は任期満了により理事長及び経営担当理事が退職したことによるものです。	
21	庄司委員	1. 業務費のうち常勤教員給与の賞与について、昨年度と比較して増加している理由（昨年度280,625千円、今年度313,114千円、増加額32,389千円） 2. 業務費のうち常勤職員給与の賞与について、昨年度と比較して増加している理由（昨年度550,228千円、今年度632,213千円、増加額81,985千円）	経営企画課	H28年度給与改定により、勤勉手当の支給月数が0.2月引き上げられたことが主な要因です。	
22	庄司委員	業務費のうち常勤職員給与の退職給付費用について、昨年度と比較して減少している理由（昨年度518,944千円、今年度231,942千円、減少額287,002千円）。	経営企画課	H28年度は定年による退職者が前年度より少なかったため、執行額が減少したことによるものです（定年分：▲13人、▲266,218千円）。	
22	庄司委員	一般管理費のうち水道光熱費について、昨年度と比較して減少している理由（昨年度163,385千円、今年度143,506千円、減少額19,879千円）。	経営企画課	電気及びガスの単価減に伴い執行額が減少したことによるものです（H27比：電気▲10,624千円、ガス▲8,823千円）。	
22	庄司委員	一般管理費のうち修繕費について、昨年度と比較して減少している理由（昨年度51,571千円、今年度15,278千円、減少額36,293千円）。	経営企画課	施設整備費補助金による修繕工事が減少したこと（36,992千円）が主な要因です。	
22	庄司委員	一般管理費のうち報酬・委託・手数料について、昨年度と比較して減少している理由（昨年度284,449千円、今年度250,429千円、減少額34,020千円）。	経営企画課	H27年度のPCB（産業廃棄物）処理費用（24,589千円）がH28年度では無くなったことが主な要因です。	

ハイブリッド手術室（手術室3）の利用実績（件；H29.3.31現在）

	H25	H26	H27	H28
経カテーテル的大動脈 弁植込み術（TAVI）	0	2	9	23
腹部大動脈ステントグラフト内挿入術（EVAR）	8	10	34	31
胸部大動脈ステントグラフト内挿入術（TEVER）	7	16	27	46
脳血管内手術	35	13	1	
血管造影		3	2	
透視	8	14	8	26
合計	58	58	81	126